

AOBA × BUNKYO 藍 indigo project

概要

本プロジェクトは、文京学院大学と協定を結ぶ神奈川県藤沢市と連携し、アオバジャパン・インターナショナルスクールと文京学院大学女子高等学校との共同プログラムとして2023年にスタートしました。“アート”と“サステナブル”をキーワードに、芸術性と持続可能性を兼ね備えた「藍」をベースとしたアート作品の制作を通して、社会課題を考え発信することを目的としています。

2年目を迎える今年は、多様性を認め合い、あらゆる人が排除されることのない“インクルーシブ”な社会の実現という新たなテーマも設定し、藤沢市での取り組み事例について、講義・実地研修を実施してきました。そして、藤沢市在住の藍左師・守谷玲太氏監修のもと、藍染めの表現技法を用いて、高校生たちが藤沢市の障がい者就労施設で働く方々と協業で、誰もが障壁なくデザインできるアート作品の制作を行いました。作品には、片瀬海岸で拾った貝殻やプラスチックを原料とした繊維（糸）など、SDGsに繋がるマテリアルも装飾に取り入れることで、よりメッセージ性のある作品に仕上げていきました。

今回の「江の島国際芸術祭 2024」への出展では、7つのチームに分かれた生徒たちが制作したアート作品とドキュメンタリー映像作品を展示・上映し、作品にこめた想いや研究成果を発表します。

① アート作品展示 【江の島の藍を使った高校生と障がい者の方による協働アート展】

日時：2024年5月21日（火）～6月10日（月） 10:00～18:00

会場：江の島サムエル・コッキング苑「UMIYAMA GALLERY」

内容：両校生徒によるアート作品（平面作品＋鉛筆画による図案）、障がい者の方によるアート作品、
藍左師 守谷玲太氏と現役大学生書道家によるコラボアート作品

② ワークショップ 【子どもも大人も楽しめる！好きなものを染められる！『藍染め』体験】

日時：2024年5月26日（金） 10:00～15:00

会場：江の島サムエル・コッキング苑「UMIYAMA GALLERY」

内容：アート作品のベースになっている“藍”についてより知っていただくための、藍染め体験（ハンカチ等）ができます。※素材の持参可（綿または麻素材／白系／Tシャツ1枚程度のサイズ）

